

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(気賀小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校運営協議会の取組について、家庭や地域へ情報を発信し、活動内容や実際の様子の周知を図る。
- 学校運営協議会と教職員との連携を高め、学校支援活動のさらなる充実を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

4ステージに分けたロードマップをもとに、子供たちが生きるために必要な4つの力を身に付けられるように計画されたプランを理解し、話をすることができた。コロナ禍に変更された行事形態も、今までになかった良さを引き出すことにつながったことを確認することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

「目指す子供の姿」を目標として理解することはできているし、課題が何かを話し合うこともできていた。しかし、その目標や課題のために学校・家庭・地域で連携して行える活動を具体的に提案していくことは難しかった。まだまだ、本校のCS活動は、「学校が希望し提案した活動の補助」を家庭や地域にお願いするという形にとどまっている。今後は、「家庭や地域から」子供たちに向けてどんな発信ができるのかを話し合うこともあってよいと思う。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校支援活動の具体的な様子は、ブログやCSだよりで家庭や地域に発信がされているが、協議会での協議結果の情報発信は、学校だよりの校長の話の中で取り扱われる程度にとどまっている。もっとたくさんの家庭や地域の方に、協議会の存在や協議内容を知ってもらうための工夫を考える必要がある。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 学校運営協議会の取組について、家庭や地域へ情報を発信し、協議会の役割・協議内容や活動の様子について周知を図る。
- 学校運営協議会と教職員や保護者との連携を高め、学校支援活動のさらなる充実を図る。
- 持続可能な学校運営協議会の取組を意識しながら、運営方法等の改善を図る。